

技術と伝統の心は、その道具にも引き継がれる。



数万パターン以上とも言われる文様には、その技法や表現に応じた無数の彫刻刀と、強度が高く伸縮しない上質の型地紙が必要不可欠です。彫刻刀は彫り師により自作されており、伊勢型紙へのあくなき研究と情熱の全てが凝縮しています。型地紙は美濃和紙を柿渋でベニア状に張り合わせて燻製と乾燥を繰り返す、伝統的な製法で作られています。



鈴鹿市伝統産業会館

〒510-0245 三重県鈴鹿市寺家三丁目10番1号 059-386-7511

当館では、受け継がれた匠の技術を後世に残していくために、鈴鹿市の伝統産業である「伊勢型紙」と「鈴鹿墨」を紹介しています。

開館時間：午前9時～午後4時30分
(休館日：毎週月曜日(祝日のときは翌日)・12月28日～1月4日)
入場無料

- ・実演コーナー
【伊勢型紙】毎週日曜日 10時～12時 / 13時～16時
【鈴鹿墨】毎月第2・第4日曜日 10時～12時 / 13時～16時
- ・ビデオコーナー
- ・伊勢型紙彫り体験 (無料：ただし10名以上の場合は有料)

【鈴鹿市産業振興部産業政策課】
〒513-8701 三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号
(059) 382-9045

【伊勢形紙協同組合】
〒510-0254 三重県鈴鹿市寺家三丁目10番1号
(059) 386-0026
<http://www.isekatagami.or.jp/>



伊勢型紙

Ise Katagami



